若　竹

（通算第 115 号）
第 070 号

２０２０（令和２）年 12 月 12 日：発行
〒725-0023　竹原市田ノ浦三丁目 2-6
社会福祉法人若竹会「若竹編集室」
℡0846-22-4440・3090

皆様、いかがお過ごしでしょうか。若竹のみんなもマスクをして、時々換気しながら新型コロナウイルス感染症に気を付けながらも、元気に楽しく作業をして過ごしています。

１２月に入り、日中も寒くなり布団からなかなか出られない季節になりました。今年は、新型コロナウイルス感染症と言う未知なウイルス禍になって初めての冬になります。全国にコロナ感染者が増えつつあって、特に北海道や東京、大阪では重症者が増えています。医療も逼迫しています。広島県でも、小さなクラスターがあちらこちらと発生しています。我が町竹原市でも感染者が出たとの発表がありました。身近に感染者がでるのも怖いと思います。

この冬は、寒いけど換気をして、もちろん手洗い、うがい、マスクをしてみんなで乗り越えましょう‼（H）

≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪≪

今年は、レクリェーションもバザーも若竹の地域交流会も中止となりました。若竹では、せめて給食を楽しめるようにと、職員さんがメニューを工夫しています。毎月第三水曜日は選択できるお楽しみメニューや、戴いた紫芋の思いもかけない料理方法に驚いています。そこで、皆さんにお聞きしました。

「今までの給食の中で、心に残ったメニューは何でしょう？？」

１位　巨大なハンバーガー
２位　有頭海老天丼
３位　メロンソーダ
４位　肉うどん
以下、紫芋のスープ・りんごのサラダ
オニオンリング・グラタン・ステーキ等々

〔ここから職員の呟きです〕
毎日美味しく給食を戴いていますが、食べてしまったら忘れるものですね。渾身の豪華お弁当には一票も入らなくって残念でした。メロンソーダが３位なのもしみじみとショック！　３日がかりで調理したメニューもあるのに……業界用語では料理物は「消え物」とか。納得ですね。

寄付・寄贈　（６月 30 日～１２月５日)ありがとうございました

☆金一封	☆物　品		
龍山佛教婦人会さま	匿名希望さま（１０回）	大石睦子さま	渡辺有二さま
吉田茂樹さま（２回）	山内英明さま	宮本幹三さま	鳥羽紘史さま
匿名希望さま	辻孝明さま	小島和幸さま	竹内のりおさま
森原幸恵さま	宇根本年美さま	匿名希望さま	榮谷紀子さま
中尾泰美さま	橋本よしえさま	植田組さま	平木貞美さま
小島尚美	生信正則さま（１０回）	山元経穂さま（２回）	竹前勇二さま
脇田恵子	唐口克己さま（４回）	中本普己さま	久保田寛子さま

若竹の皆さま　〝おめでとう〟

理　事　　大　石　睦　子

２０２０年はコロナウイルスに始まり、コロナ禍の中でまもなく終わろうとしています。

不安と希望の持てない日々に翻弄された一年でした。マスクに、手洗い、消毒、緊張の日々、そんな中、今年一番の喜びは、脇田恵子さんの「令和２年度精神保健福祉事業功労者の広島県知事表彰」です。若竹にとってうれしい、誇らしい明るいニュースです。彼女のご苦労と努力はもちろんスタッフの皆さまのご苦労が実を結んだ結果と思っています。

おめでとうございます‼

平成１７年４月１１日、私を訪ねて脇田さん、小島さんが来られた日を思い出しています。若竹を法人化するため理事になってほしいというお願いでした。利用者さんたちへの思い、若竹への思い、熱く熱く話されましたが、とてもそんな大任は務まるとも思えず、お断りしようとしていました。けれども、お二人の目に大粒の涙を見たとき、私の心に大きな変化が起こりました。こんなにも純粋に施設を愛しておられるお二人の何かお役に立ちたい、とお引き受けしてから１６年、あっという間だったように感じています。法人化され新築の建物が出来たころ、日曜も祭日もなく、夜も遅くまで笑顔で働いておられる姿は若竹への大きな愛と使命感であふれていました。今もその思いは続いております。

事業は順調で大きなトラブルもなく皆さん元気に働いておられる姿、お邪魔するたび感じられる温かい家庭のような雰囲気に、スタッフの皆さんの利用者さんへの思いを感じています。大きな施設ではとても出来ないすばらしい特徴です。手作りの昼食の献立は味付けも栄養もバランスのとれたお母さんの料理を思い出す美味しい料理です。お昼近くにお伺いすると、厨房でスタッフはキビキビと忙しく働いておられ、美味しそうな匂いが建物中にプーンと流れる様子に癒され、優しい気持ちになれる瞬間です。そんな若竹は、竹原の少し北の方、自然豊かな場所にあります。春にはうぐいすが庭の木にとまり美しい声で鳴いています。(ちょっと太めのうぐいすでした)　初夏には小さな川にほたるが飛び交い、秋には山々の紅葉が美しい小さな事業所です。冬は雪景色と書きたいのですが、気候は温暖、暖かく穏やかな住みよいところです。たくさんの方々のお支えとご支援により、若竹の今日がありますことを心から喜び、感謝しています。

新しい年は、この苦難の日々が落ち着き、またのびのびと利用者さん、スタッフが働くことができますよう、心から祈っています。微力ではありますが、私ももう少し共にいて出来るお手伝いを続けたいと願っています。若竹がこれからも地域に愛され、良き事業所となりますようお祈りいたします。

…若竹の皆さまと共に過ごせた日々を感謝して。

若竹会役員一同

理事長	脇　田　恵　子
理　事	井　口　哲　彦
理　事	山　内　英　明
理　事	吉　田　　豊
理　事	大　石　睦　子
理　事	竹　田　　博
監　事	升　元　恵三郎
監　事	中　尾　泰　美

若竹会評議員一同

評議員	亀　尾　善　熙
評議員	中　本　普　己
評議員	白　石　台　造
評議員	吉　本　郁　子
評議員	増　田　正　人
評議員	久保田　寛　子
評議員	黒　田　　望

若竹会後援会役員一同

会　長	日　谷　博　光
副会長	竹　鶴　紘　子
副会長	児　玉　忠　則
理　事	中　尾　泰　美
理　事	山　本　晋　児
理　事	宮　本　幹　三
理　事	竹　前　勇　二